

みどりの風



民生委員・児童委員活動 PR (江戸川区役所前庭にて)

ごあいさつ

江戸川区民生・児童委員協議会会長 須賀 理

日頃から民生・児童委員の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

このたび当協議会では、広報誌を創刊いたしました。区内では、17地区、約400名の民生・児童委員が活動しています。本誌では、その活動の一部を紹介し、地区を超えて情報を共有することで活動の参考としていただくとともに、地域の皆様にも民生・児童委員の活動を知っていただければ幸いです。

今年は、3年に一度の一斉改選の年にあたり、12月から新たなメンバーによる3年間がスタートしました。長年にわたり区民と行政の架け橋として、ご活動いただいた退任委員の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、新任委員の皆様の今後の活躍に大いに期待しております。また、新任委員候補者の推薦にあたり、ご尽力いただきました町会・自治会の皆様にも深く感謝申し上げます。

当協議会では、研修や情報交換の場を設けるなど、委員活動の充実を図り、地域住民の抱える課題の解決に向けて力を合わせてまいりますので、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創刊号の発行にあたりご尽力いただいた広報誌検討委員の皆様にも心より御礼申し上げます。



江民協広報誌「みどりの風」創刊号発行に寄せて

江戸川区長 斉藤 猛

江戸川区民生・児童委員協議会広報誌「みどりの風」の創刊を心よりお祝い申し上げます。

日頃から民生・児童委員の皆様には、地域の身近な相談役として区民に寄り添い、相談支援や見守りなど多岐にわたりご活動いただき、深く御礼申し上げます。

また、区民まつりをはじめとした地域行事や福祉施設のイベントなどでは、お揃いの緑のベストを身に着けた皆様の姿がとても頼もしく、地域福祉の推進に大きな力となっています。協議会の積極的な取り組みに対し、区としても敬意を表するところです。

このたび創刊された「みどりの風」が、皆様の情報共有の場となるとともに、地域の皆様に民生・児童委員活動をより広く知っていただく情報発信の一助として、末永く愛されることを願っております。

民生・児童委員の皆様には、今後も思いやりの心と奉仕の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

創刊にあたり、ご尽力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。



令和7年の主な活動

1月 新春の集い

3月 合同研修発表会（6地区の民生委員が日頃の活動を発表）

5月 民生・児童委員の普及啓発活動
（5月12日の民生委員児童委員の日にあわせ区役所前庭で実施）

5～6月 公立小中学校訪問（小学校 65校、中学校 32校）
日帰り研修（17地区民児協別に実施）

6月 合同民生・児童委員協議会（以下、合同民協）
講演：「こどもの心の声を聴く、アドボカシー
～こどもの『ために』から、こどもと『とも』に～」
講師：川瀬 信一氏
一般社団法人 子どもの声からはじめよう代表理事
子ども家庭庁参与、千葉大学教員学部非常勤講師

会長・副会長会研修

講演：「江戸川区の100年と未来に向けた取り組み」
講師：江戸川区長

6～10月 児童委員・児童相談所・学校等の関係機関による
地区連絡協議会〈四者協〉（地区民児協別に実施）

9月 合同民協
講演：「高齢者の暮らしを支える
～成年後見制度と安心生活センターの事業～」
講師：江戸川区社会福祉協議会事務局長

9～11月 宿泊研修（地区民児協別に実施）

10月 江戸川区民まつり及び地域まつり等に参加（民児協 PR）
福島県広野町民生委員協議会の来訪

10～11月 民生・児童委員訪問調査
区内の高齢者、障害者約5,300件を訪問

11月 東京都民生委員児童委員大会

12月 委嘱状伝達式・感謝状贈呈式・永年活動表彰式（区主催）
受賞者祝賀会・歓送迎会（江民協主催）

6月



合同民協での講演

10月



福島県広野町民生委員協議会の来訪

11月



東京都民生委員児童委員大会

10月



江戸川区民まつり
毎年恒例の「豆つかみ」

民生・児童委員のイメージキャラクター ミンジー



協力して子育てをするペンギンの姿を通して、「地域における支え合いを目指す」「社会全体で子育てを応援する」活動に取り組む姿を表しています。



江戸川区民まつり 民生・児童委員ブース前で
（左から須賀会長、関口江戸川区民まつり実行委員会会長、
ミンジー、斉藤区長）

地域とのふれあい

葛西第一地区

葛西まつり／令和7年 10月

葛西第一～第四の4つの民生・児童委員協議会では、毎年、「葛西まつり」に参加しています。区民まつりでも好評の豆つかみゲーム（小さな豆を箸でつかみ、隣の受け皿に60秒間でいくつ移動できるかというゲーム）で、今年も多くの皆様に挑戦していただきました。また、来場者にリーフレットやティッシュを配り、民生・児童委員の活動PRを行いました。



東部第二地区

共育プラザ南篠崎 「みんな DE みなしのまつり」 令和7年 6月

共育プラザ南篠崎全館を使っの「みんな DE みなしのまつり」に、地区の民生・児童委員がお手伝いとして参加しました。小さなお子さんから大人までを対象としたおまつりで、ボランティアの中高生、地域の方々とふれあい、お話をさせて頂く中で、お子さんの悩み、親御さんの悩みなど聞く場面もありました。

入場者数は、前回をはるかに超える800人。帰りの見送りも皆さん笑顔で私達も自然と笑顔になりました。これからも地域の皆さんに寄り添い耳を傾けていこうと思います。地域の皆さんの笑顔を大切に。



松江第三地区

サロン活動

地区内の町会会館をお借りして、地域のボランティア団体が運営するサロンに民生・児童委員が協力しています。

どなたが参加しても良い「ふれあいサロン」「なかよしサロン」は毎週決まった曜日の午前中に開催してゲームや体操などを行っています。

「手をつなぐ会まつしま」は高齢者を対象に会員登録してもらい、月に一度の開催で、歌や工作にお茶会で親睦を深めています。



なかよしサロンでポッチャをやっています。



福祉施設等の視察研修



松江第一地区

東京恵明学園 乳児部 令和7年5月訪問

青梅市にある東京恵明学園は、乳児部のほか児童養護施設の児童部も併設しています。乳児部の定員は35名、0歳から3歳の乳幼児が暮らしています。学園長から養育内容などの説明を受け、施設内を見学させていただきました。家庭復帰に向けての親子体験室が設けられていたり、乳幼児ショートステイの受け入れなど多様なニーズを持つ利用者の方々が安心

して暮らせるようにサポート体制を整えていることを知り、深く考える機会となりました。



一之江地区

社会福祉法人 香取学園 令和7年5月訪問

千葉県にある児童養護施設「香取学園」では、愛情深い職員により、子どもたちは家庭的な生活をしています。しかし、事情があって親と離された子どもは、職員への甘え方がわからず、親との生活を望んで職員を困らせる行動をとることもあるそうです。子どもたちは、地元の学校へ通学し、放課後は友だちと遊んだり、休日は地元のスポーツクラブに参加したりできますが、自分の境遇を知られたくないためか、あまり交流はないようでした。多感な時期を過ごしている子どもたちの世話をしている職員の方のご尽力には頭が下がります。



小松川第一地区

神奈川県ライトセンター 令和7年5月訪問

今年の地区の日帰り研修は、5月に神奈川県ライトセンターを訪問しました。聴覚障害のある方への支援施設です。点字・録音図書の制作作業や図書保管場所を見学し、週刊誌までも録音してCDを定期貸出していることなど、初めて見聞きすることばかりで、見学後の質疑では時間が足りないほどでした。江戸川区にはない施設での研修で、知識習得と地域での福祉活動につながると思います。



障害者施設 こころみ学園 ココ・ファーム・ワイナリー 令和7年5月訪問

こころみ学園では、障害者向けのサービスと、支援組織の「ココ・ファーム・ワイナリー」で販売するワインに使う葡萄栽培、醸造作業・ラベル貼り・梱包などの作業をしています。働くことで障害者の方が達成感や喜びを味わえる、障害があってもできることは沢山あることを知り、ここで働く多くの方が働くことに生きがいを感じていると、見学を通じて知ることができました。



埼玉県立 嵐山郷 令和7年10月訪問

埼玉県立「嵐山郷」は、埼玉県社会福祉事業団が運営する障害者施設です。広大な敷地の中に、障害児入所施設や障害者支援施設、グループホーム、保育所など複数の施設が建っています。今回、私たちは日中活動の拠点「らんざん工房」での作業の様子を見学しました。らんざん工房では、利用者が“さをり織り”や“陶芸”などを行っており、出来上がった作品を常時展示販売もしています。



児童養護施設 つつじが丘学園 令和7年9月訪問

この秋には、長野県にある児童養護施設「つつじが丘学園」を訪ねました。月曜日に伺ったので、子ども達とはふれあえませんでした。学園長の児童養護に対する熱いお話を聞いて、民生・児童委員として、活動をさらに充実させようとの思いを強めました。また、帰るときに玄関に飾ってあった故・山下清画伯の絵を見ましたが、社会からその活動が認知されていると感じました。



児童養護施設 こどものうち八栄寮 令和7年9月

9月には、2泊3日で宿泊研修を実施しました。1日目は八王子にある児童養護施設『こどものうち八栄寮』を訪問。施設長自ら、支援方針の説明・施設内部の案内をしてくださり、緑豊かな環境と温かい対応に清々しい気持ちになり、とても有意義な研修内容でした。2日目には立山黒部アルペンルートを巡り、天候にも恵まれ黒部ダムの雄大な景色を観ることもできました。また、委員相互の親睦も深められ、とても楽しく終わることができました。



部会活動

各地区協議会は、子育て支援部会、児童福祉部会、障害福祉部会、生活福祉部会、熟年福祉部会の5つの事項別部会と主任児童委員部会があり、それぞれ活動しています。今回は、地区での活動の一部をご紹介します。

小岩第二地区

子育て支援部会

私たちは、共育プラザ南小岩で6月に開催される「サポーターフェスティバル」、7月の「共南祭」に参加しています。どのまつりも「子育てはひとりじゃないよ。」「助けてくれる人はたくさんいるよ。」というコンセプトのもと、職員や地域のサポーターの方々の努力もあり、みんなが笑顔で過ごせる場所になっています。民生・児童委員の私たちもサポートするというより、一緒になって楽しませていただいています。



東部第一地区

しろひげ在宅診療所 令和7年7月訪問

今回、熟年福祉・障害福祉・生活福祉の三部会合同で、地元の「しろひげ在宅診療所」を訪問しました。ここでは在宅医療を中心に各種の活動（一部施設の地域開放やこころ食堂の開催など）も行われていますが、訪問診療にフォーカスしてお話を伺いました。医師やスタッフも多く、あらゆる診療科への24時間対応や通院困難な患者だけでなく、受診を拒む高齢者の家族の相談先としても大変心強い印象を受けました。



小岩第一地区

子育て支援部会

年間を通して「共育プラザ小岩」の子育てイベントのお手伝いをしています。9月10日（水）には、「みんなのおしゃべり cafe」が開催され、6組の親子が参加、子どもの食事の悩みなどの話がありました。9月15日（月）に開催された「中高生と赤ちゃんのふれあい体験」では、中高生と三組の親子の世代間交流が行われました。民生・児童委員の私たちは、イベント中、子どもたちの見守り等のお手伝いをしました。



自主活動

各地区協議会では、定例民協とは別に、自主的に研修会や情報交換会などを企画し開催しています。

小岩第一地区

自主研修会

小岩第一地区で年1回開催している「自主研修会」は、担当グループがテーマを決めて、資料等を準備して進めます。協議会活動のマニュアルを確認するなどして、活動に対する共通の理解を深めていきます。

また、委員が個人的に考えている事、やってみたい事等意見を出し合い、民生委員活動として広げてい

けるのか話し合ったりもします。懇親会も兼ねているので、趣味の話や興味のある事等委員活動以外の話でもあります。そこから新たなつながりが生まれたり、発見があったりと和やかな雰囲気の中で話が進みます。



小岩第四地区

介護保険勉強会

江戸川光照苑のケアマネジャーを講師にお招きして、介護保険のことは勿論のこと、地域包括支援センターについてや普段の見守りで気付くこと、自分の家族の相談など様々なお話をさせていただきました。また、「直接お話させていただけるなら、小さな町会の集まりでも是非とも呼んでください」と、とても心強い言葉をいただきました。



17地区の部会長が集まり、部会長会を開催。情報交換や研修を行っています。



9月

生活福祉部会長会で城東職業能力開発センター江戸川校を訪問。各コースの実習の様子を見学しました。



7月

子育て支援部会長会で子ども未来館を訪問。子どもたちを対象に開催されている講座などの説明を受け、屋上菜園や子ども図書館を見学しました。

児童委員としての活動

民生委員は、児童委員を兼ねています。毎年、区内の小・中学校への訪問や、学校行事に参加しています。また、各地区協議会では、児童委員、児童相談所、学校などの関係機関による地域連絡協議会を開催しています。地区ごとに毎年、テーマや開催内容等を企画し、地域の児童問題について情報交換や協議を行い、関係機関の協働関係の強化に努めています。

鹿骨地区

児童委員・児童相談所・学校等の関係機関による地区連絡協議会（四者協）令和7年8月

今年の四者協は、平井の「発達相談・支援センター」の熊 仁美所長を招いて、初めての講演会形式にしました。テーマは、「発達障害またはその傾向にある児童・生徒への支援」として、スライドを用いて、基本的な説明やどのような対応をするのが望ましいのかという事をわかりやすくお話していただきました。13校の先生方や関係機関の方々から、子ども達への取り組みなどを簡潔にお話していただき、有意義な時間を共有できました。



葛西第三地区

学校訪問

葛西第三地区では、今年も春に小学校6校、中学校4校の学校訪問を実施しました。PTA活動が活発な学校も多いようですが、ヤングケアラーの問題も複数あるそうです。不登校の児童・生徒に向き合う先生方も、家庭と二人三脚で対応されていますが、ご苦労されている様子です。また、公園が多い地域でもありますので、夜間に遊んでいる子どもたちを指導する先生にお会いしたこともあります。地域の皆さんにもご協力いただき、私たち民生・児童委員にできることを行っていきたいと思っています。



篠崎小学校の全校集会で、地域での見守りや相談を担っている「民生委員・児童委員」として、東部第二地区と鹿骨地区の委員が紹介され、活動を紹介するリーフレットも生徒さんたちに丁寧に配付されました。

江民協広報誌 検討委員

宇田川 悦子(松江第一)
山崎 克彦(松江第二)
中俣 扶美枝(松江第三)
中村 かおり(一之江)
本谷 節子(小松川第一)
飯濱 晴夫(小松川第一)

山口 昌一(小松川第二)
中里 治(葛西第一)
高島 由紀子(葛西第二)
村田 典子(葛西第三)
関川 玲子(葛西第四)
加藤 友子(小岩第一)

飯島 小弓(小岩第二)
横山 恵(小岩第三)
高畑 由紀子(小岩第四)
市川 成美(東部第一)
細村 美樹(東部第二)
儀間 直江(鹿骨)



江民協広報誌 **みどりの風**
令和7年12月発行

創刊号

発行 江戸川区民生・児童委員協議会

事務局 〒132-8501 江戸川区中央一丁目4番1号

江戸川区福祉部福祉推進課庶務係 TEL 03-5662-5026(直通)